

2024年6月24日

「アマチュア無線の魅力向上アイデア」提案書

1. 提案者
  - ・氏名（グループの場合は代表者）：小池 貞利
  - ・年齢：
  - ・コールサイン（局免許保有者の場合）：JF9S0M
  - ・連絡先 住所：
  - メール：
  - ・（グループの場合）代表者以外の構成員の氏名・年齢：
2. 提案カテゴリ（AまたはBを選択）
  - A 既に開局している若者や初心者にとっての魅力を一層高めるアイデア
3. アイディア名： 無線カフェ・フランチャイズ構想

4. アイディアの概要（200字以内）：

初心者が気軽に無線について相談できるとともに、無線仲間が気軽にアイボール交流できる場所として全国に無線カフェ（アマチュア局が常設され、いつでも誰でも体験・相談・談笑できるくつろぎの場）を全国に展開する。なお、無線カフェの設立を希望する地域クラブや有志の個人を支援できるようにアマ無線業界が出資した支援会社を設立し、フランチャイズとして手軽に無線カフェがオープンできる仕組みを確立する。

5. 詳細説明（図表を含めて4頁以内）：

1970～80年代においては、無線に関心を持つ若者が大きなアンテナが立っている家に気軽に訪問し、「おじさん無線機見せて」みたいなことができた時代もあったが、現代は、見知らぬ人の家を突然訪問するなどということが許される社会ではなく、また、気軽に入れるような無線ショップも多くはないので、無線に興味を持つ若者や初心者が、気軽に相談したり、無線運用を見学できる場所がほとんどない。

若い初心者のみならず、定年退職後の趣味として、アマチュア無線を再開または新たに開局しようとしている高齢者についても、気軽に相談できる場所がないのは全く同様であり、再開しようとしている者の場合でも、そのギャップ期間が長い場合には、アマチュア無線環境が大きく変わっているため、そのような場所が必要であることは明らかである。

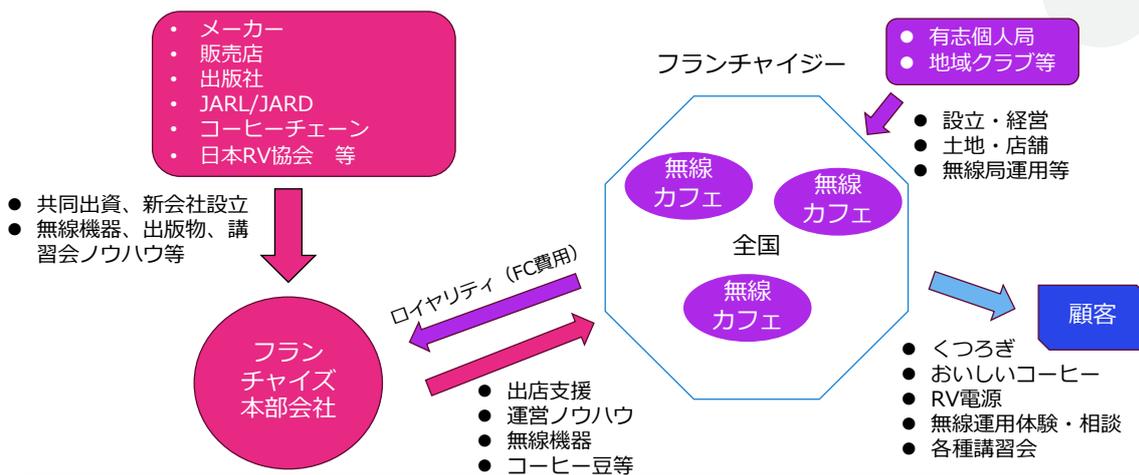
そこで、無線に興味を持つ者同士が、気軽に立ち寄り、ドリンク等を飲みながらくつろげ、いつでもアイボールでき、無線の話で盛り上がり、仲間も増え、相談もでき、実際に無線の運用を見学できたり、体験できるという環境の整備が、初心者にとっての魅力向上やアマチュア無線の持続的発展のためには必須であると考え、日本全国に「無線カフェ」をフランチャイズ展開するための仕組みを当方は提案する。

当方が考える無線カフェのイメージは、次のとおりである。

- カフェの片隅に無線機がカッコよく並べてあり、店長または協力する地域クラブ等のアマチュア無線家が常時待機する。
- 常時、最新設備による展示運用や体験運用が実施できる。
- 客からの質問等に常時対応し、適切なアドバイスを無料で提供する。
- 定期的に初心者セミナー（無料）や養成課程講習会（有料）が実施される。
- 無線機の購入希望者に対しては、その購入を支援できる（メーカーまたは販売店からの手数料をとる。）。
- RV パークを併設し、移動運用するアマチュア無線局等に対し、有料で電源を提供する。
- おいしいコーヒー等を有料で提供する。
- 災害時には、アマチュア無線家からの情報集約拠点として機能する。
- その他、店長のアイデアで集客し、無線を楽しみながら、くつろげる環境を提供する。

このような無線カフェを全国に展開するためには、アマチュア無線業界が共同出資して新会社を設立し、下図に示したフランチャイズの仕組みによって、その本部会社が、各地域の無線カフェの設立や運営を支援することが必要となる。各無線カフェは、原則的に各地域のアマチュア無線家個人または地域クラブ等が設立・運営するものとするが、必要な場合にはフランチャイズ本部の直営店も設置する。

## 無線カフェ・フランチャイズの仕組み



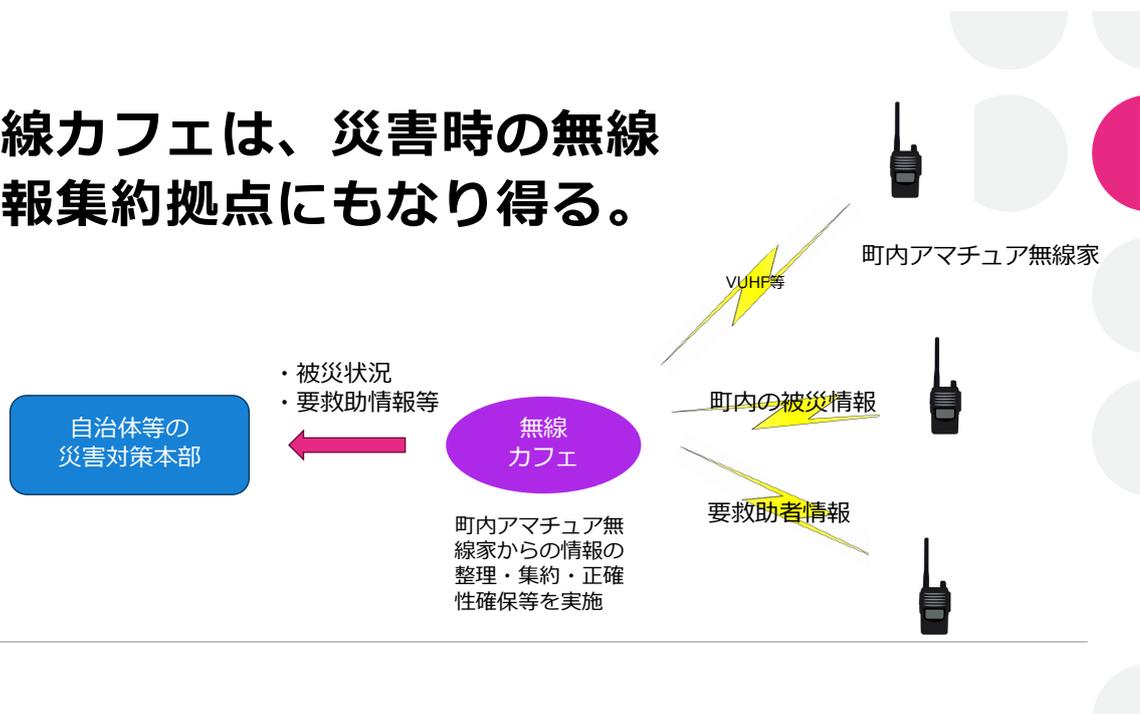
まずは、準備会社を設立し、直営店を国内数カ所に設置し、2年程度試験的に営業し、問題点を洗い出し、運営ノウハウを蓄積し、運営マニュアルを策定の上、中長期の事業計画及び収支計画を策定する。その後、準備会社を本格的な本部会社に移行し、フランチャイジーを公募して、日本全国に展開する。この仕組みが十分機能するようであれば、海外展開本部を新設し、北米及び欧州に同様の無線カフェを広めるのもよい（海外においてもアマチュア無線人口が減少し、高齢化していること

は日本とあまり変わらないため。)

各無線カフェは、飲食、RV 電源、無線機紹介料、講習会運営手数料等を主たる収入源とし、収支バランスがとれるようフランチャイズ本部が指導及び支援する。

なお、各無線カフェは、適切な訓練が必要ではあるが、災害時に、アマチュア無線を経由して集めた災害情報を集約し、整理した情報を自治体等の災害対策本部に提供するための情報集約拠点としても利用することができると考えている（下図参照）。

## 無線カフェは、災害時の無線情報集約拠点にもなり得る。



最後に、当方の提案を簡潔にまとめると以下のとおりである。

- 初心者にとっての魅力を高め、かつ、アマチュア無線を継続的に発展させていくために、初心者が気軽に相談・体験することができ、かつ、無線仲間と気軽に会話し、くつろげるような無線カフェを全国にフランチャイズ展開するための仕組みを構築する。
- まずは、関係企業等で準備会社を設立し、直営店を数か所試験運営し、2年程度でノウハウを蓄積し、運営マニュアルを策定する。

### 6. 参考情報（任意）

- ・ 参考資料：無線カフェ構想.pdf